

も テモテ通信

Vol.8 2021 ハロウィン号



Happy Halloween!



世間に「ハロウィン」が浸透してだいぶ経ちますが、それでも、ハロウィンが過ぎる前からクリスマスグッズが売られたりしていて、焦ってしまいます。

コロナウイルス感染もかなり落ち着いてきました。このまま終わってくれることを祈るばかりです。それでも、「第6波が来るかも」とも言われていますので、引き続きご自愛ください。



10月31日、ハロウィンの日の夕の礼拝には、カボチャのロウソクを使い、前奏と後奏は、「This is Halloween」という、ディズニーの曲にしてみました。

毎週日曜日朝の礼拝と夕の礼拝はYoutubeで見られます。Youtubeで「Luke Togoshi」で検索！

前号は7月末に出しましたので、8月からのテモテ教会の様子です。

8月6日広島原爆の日記念礼拝・8月9日長崎原爆の日記念礼拝

今年は、どちらも「ライブオンライン」でした。広島復活教会、長崎聖三一教会の礼拝のライブ配信を聖堂に流しながら、一緒に礼拝しました。その様子をYoutubeで流したので、「ライブオンライン」礼拝です。違う場所にいながらも、同じ空気感を共有出来るのはとても大事だと思いました。



8月17日古本正夫司祭逝去記念日 墓参



あいにくの雨でしたが、元木園恵さん、武市正大さん、西山一栄さんとお孫さん&ひ孫さんと墓参をしてきました。

お祈りをしているときには小降りになり、終わった頃には止んでいました。みなさんがお花を準備してくださっていたので、とても豪華になりました。



神戸教区主日説教動画



9月5日は第1日曜日でしたので、宮田せんせえは富岡キリスト教会へいきました。普段、司式をしてくださる武市正大さんもお家の都合でいらっしやれなかったため、三木亜佐子さんがリモート司式をしてくださいました。説教は神戸教区の説教動画（この日は林和広司祭）を流してくださったようです。こんな形で礼拝ができる徳島聖テモテ教会は、最先端を行っていると思います！

9月19日の神戸教区主日説教動画は宮田せんせえ、9月26日は芳我秀一司祭でした。

主教巡回

9月末で緊急事態宣言が解除されたので、10月3日、無事小林尚明主教がいらしてくださいました。河田晴子さんも、しばらくぶりにお嬢さんといらっしゃいました。やっぱり、顔を拝見できるのは嬉しいことですね！

今年も、オンライン参加の方も含め、集合写真を撮りました。マスク有り、マスクなしバージョンです。



ウィリアムス神学館体験入学

10月5日から7日まで行われた、ウィリアムス神学館の体験入学に参加してきました。



2019年の4月、夫が徳島に赴任してから、わたしは「聖職（当時は候補生）の妻」になりました。それまで旧姓のまま仕事をしていたこともあり、まわりからは「横山さん」とかニックネームの「よっこ」、「よっこちゃん」と呼ばれていました。未だに、夫や東京の友人はわたしをそう呼びます。「宮田せんせえの奥さん」と呼ばれたり扱われたりすることは未だに慣れません。慣れるどころか、ちょっとしたストレスに感じています。「宮田」を名乗ることに抵抗はないのですが、「宮田せんせえの奥さん」となると、「わたし」がどこにもなくなってしまいます。

夫は、自閉症スペクトラムの傾向がかなり強くあるので、事務仕事はできません。でも、それでは教会が回っていかなくなるので手伝うのですが、それは「信徒」の域を超えてしまいます。かといって、「聖職」でもない自分の立ち位置がわからなくなっていました。

今回体験入学を申し込んだのは、大岡左代子司祭の講演を聴きたかったからでした。「司祭の妻」であった左代子先生が、どんな風に考えて、ご自分も司祭になられたのかを伺って、自分の場合はどうなのかを考えてみたいと思いました。

実際にお話を伺い、他の体験入学参加者や神学生と語り合い、3日間「キリスト教」の事だけを考える時間が与えられたことは、「魂の養い」になりました。

残念ながら、今のわたしは聖職になるよう導かれていると思えないですし、自分でも、聖職になりたい希望を持っているわけではありません。

それでも、「内助の功」ではなく、「協働」なのだと胸を張って言えるよう、これからも、研鑽を積んでいこうと思います。



みやた せんせえ より

「時間軸 左から？上から？右から？」

以前、「物語が理解できない」という話しをしました。が、「記憶することが困難」「能動的記憶が出来ない」という問題が自閉症スペクトラムを持っている者には比較的共通しているようです。記憶が出来ないというと驚かれますが、意識的に何かを覚えようとする行為がとても困難です。例えば簡単な漢字一つを目の前に出されて、覚えましようと言われてもほとんど不可能です。いまだに主の祈りは覚えられていませんし、努力しても覚えることが出来ません。

私の記憶はどうなっているのかというと、記憶の一つ一つが一つの画像として蓄積されているようです。その画像も整理されているわけではなく、頭の中の広大な真っ暗な宇宙の中に散らばっているイメージです。夜の星空のような感じです。その一つ一つの点の記憶の中から必要な記憶が自動的に目の前に拡大して現れて思い出す感じです。自動的に目の前に拡大して現れなければ、記憶の彼方に消え去っているか、忘れた頃に突然フラッシュバックとして現れることになります。記憶のコントロールも結構難しい状態です。電光掲示板がいつも頭の中にある感じかも知れません。ですからいつも何かを考えていて、ひらめいたり、悩んだりをつねに繰り返しています。

そんなイメージで脳内に記憶が散らばっているのが、時間軸というものが明確に存在しません。点の記憶を繋げる物差しがないのでしょう。明確な時間軸がないために、歴史のような時間軸を中心に進む事柄は全く歯が立ちません。縦書きの日本語で書かれた本は、右側から時間軸が進んでいます。横書きで書かれた本は時間軸が左から右に進みます。これだけでも脳内で混乱が起きて、書かれている出来事を脳内のどこに記憶すれば良いのかわからなくなり、理解できずに記憶することが出来ません。その上、べた書きになっている文章は、時間軸が整理されずに書かれていますから、そもそも何がなんだかかわからない状態です。

そして、年表になると、上から下に時間軸が記されているものがあります。また15世紀が1400年代といわれると、この見た目の数字が合っていない状態が混乱の元です。

左から始まる時間軸、右から始まる時間軸、そして上から始まる時間軸。表記上の数字の不一致。これらの情報を脳内で整理することが出来ません。ただでさえ時間軸を持っていない上に、様々な時間軸で表記される文章を相手にすることは、とても難しいことが良く理解できると思います。

歴史が良く理解できないのは、時間軸を整理することが出来ない、様々な時間軸を統合する手段を持っていないことに起因するのかもしれませんが。その上で、歴史は事実が明記されていないことも多く、概念を説明されてさらに混乱するのだと思います。もしかすると明確な事実が記されているのかもしれませんが、それを概念に感じてしまっているのかもしれませんが。例えば「そのように考えられています。」という表現は理解を困難にする表現の一つです。

時間に沿って話す事は出来ますが、その時は脳内にスライドショーが始まり、そのスライドショーに沿って話していることになります。ですので勝手に現れるスライドショーの中に欠損があると、無かったことになってしまい伝える必要のある事柄をすっかり忘れてしまうことが多々あります。物忘れが多い理由はこれが原因でしょう。

自分の話したことを覚えていないことが多いですが、同じ記憶を元に話すのでだいたい同じ内容を話すことが出来ていると思います。話すたびに言うことがコロコロ変わることはありません。

皆さんは時間軸をどのように整理しているのでしょうか。



11月3日、北海道教区で主教選挙が行われ、東京教区の笹森田鶴司祭が選出されました。まだご本人がお受けになるかわかりませんが、日本聖公会初の「女性主教」誕生かもしれません！歴史は、どんどん進んでいきます。それでもまだ、遠い道のりなのが悲しいですが、「女性〇〇」と言わなくてもその人個人を認め合いつつ、協働出来る日が来るのを待ち望んでいます。

マルセラ宮田美樹

2021/11/5発行